

## 取組みの主な進捗状況

### 生活のDX

#### デジタル地域通貨を導入します！



域内経済や地域コミュニティ活性化、また、給付金事務の効率化・迅速化を図るため、デジタル地域通貨を導入します。

サービス提供開始にあわせ、プレミアム商品券の発行や地域通貨活用に関するアイデアコンテストを実施し、利用を促進します。

#### デジタル技術を活用し地域課題解決を図ります！

地方発のDX推進の最先端を目指す未来技術活用プロジェクト6件について、県民・市町・県企業向けに成果報告を行いました。



有害サルAI検出による獣害被害防止や、CO2センサによる施設混雑状況の可視化など、デジタル技術を活用し課題解決を図ります。

### 産業のDX

#### 北陸デジタルものづくりセンター開所！



産業技術総合研究所の新たな研究拠点「北陸デジタルものづくりセンター」が県内に開所しました。

福井県もセンターと連携し、AR技術を搭載した眼鏡など、ウェアラブルデバイス等の技術開発を進め、福井県の産業の高付加価値化を図ります。

#### AR等を活用した観光案内を提供します！

一乗谷朝倉氏遺跡博物館では、来館者に戦国城下町の建物や当時の街並みをよりリアルにお伝えする「AR・VRを活用した観光案内サービス」を提供しています。スマートフォン等掲げることによって戦国時代にタイムスリップしたかのような体験が味わえます。



### 行政のDX

#### 生成AIの業務活用に向け実証中！



生成AIの業務活用における「利用法・課題・効果」の把握を目的とした実証を行っています。事業のアイデア出しや文書作成等への生成AIの活用など、利用方法を検討していきます。

#### アナログ規制を見直します！

書面や対面等での対応を求めるアナログ規制について、国と歩調を合わせた見直しを開始しました。

規制の見直しにより、業務の自動化や無人化がはかられ、人手不足解消や生産性向上が期待されます。

**(1.0) 今後の取組方針**

現場取組の拡大深化、行政電子化、地域活性化を推進  
今後、「デジタル老健度向上事業（見直し）」に制度取組

## 最近の県の動き

#### 冬のDigi田甲子園で優勝しました！

取得した運転データから隠れた危険エリアを地図上に可視化した、福井県とあいおいニッセイ同和損保(株)の取組が国主催の「冬のDigi田甲子園」で内閣総理大臣賞を受賞しました。



隠れた危険エリアの注意喚起のみならず、30km/h速度規制の「ゾーン30」設定の根拠データとして、また小中学校でのデータ分析学習の題材として幅広く活用されています。

#### ふくいDXセミナー開催！

3月24日に「ふくいDXセミナー」を開催し、オンラインも含め約190名の方にご参加いただきました。

教育DXの第一人者である平井聡一郎氏の基調講演など、大変盛況でした。



**ふくいDXセミナー**

地方発のDX推進最先端を目指す福井県の取組み、現在地、そしてこれから

- 福井県のDXの取組み
- 基調講演「教育DXで変わる学校！数あるふくいの未来！」
- 事例紹介「未来技術活用プロジェクト」実証成果発表

基調講演では、AIの浸透など、変化する社会に対しては、これからを生きる子どもたちの教育も変わらなければいけないなど、学校教育DXについてお話いただきました。

#### スマートシティ社会実装セミナー開催！

6月21日に民間団体「CSPFC」による「スマートシティ社会実装セミナー」を開催し、スマートシティ関連サービスや公民連携の取組について紹介しました。（福井県共催）

公民連携による  
スマートシティ社会実装セミナー  
in北陸



福井県もサービスや情報を連携させることで、子育てや見守りの新たな価値創出を図るなど、官民が連携した北陸地方発のスマートシティ実装を目指します。